



毎日、 コップ一杯の牛乳を、 飲んでください。

長崎県諫早市の酪農家、山口大貴さんの一日は午前5時半から始まります。牛舎の掃除、牛へ牧草を与え、仔牛への哺乳。

午前8時半にその日一度目の搾乳が終わった後は

牛舎や機械のメンテナンス、堆肥出し、牧草作りなど次々に作業を進めます。そして午後3時半から再び牛舎の掃除、牛へ牧草を与え、仔牛への哺乳、それから、二度目の搾乳。一日の作業が終わるのは午後7時過ぎ。

搾乳の前には乳房炎などの病気がないか確認し仔牛が生まれる時は監視カメラで24時間態勢で見守ります。

これが、生きた牛と毎日向き合う、酪農という仕事です。

長引くコロナ禍による牛乳消費の慢性的な落ち込み。

また、最近の円安や国際情勢による飼料の不足や値上がりも深刻な問題です。そんな中でも、地元九州で安心、新鮮、何よりも美味しい牛乳を届けるために365日、早朝から搾り続けています。

山口さんに質問をしてみました。

「消費者の方に、何かお伝えしたいことはありますか?」

山口さんは、やや照れながらこう答えました。

「いろいろことがあるけど、あきらめずに頑張ります」

大変な状況の中、酪農家たちの思いはそれぞれ。でも、願いは同じです。

ミルキープ

MILKEEP!

牛乳を、まもう。